

環境経営レポート(2023年度)

(対象期間: 2023年10月～2024年9月)



 **ハシダ技研工業株式会社**
尼崎工場 エレクトロニクス事業部

発行日 2024/10/4

□ごあいさつ

ハシダ技研工業(株) 尼崎工場 エレクトロニクス事業部は開発品を主とし
検査・計測システム、FA・制御システム、電源装置等
お客様のニーズに対応した各種装置の設計・製作、又、医療機器用機具として
加速度脈波測定システムのセンシング部の製造を行っています。
当社は製造業として環境意識の高揚を図り環境経営を念頭に
ECO活動を実践していくことが責務であると認識しています。
今後も地域に必要な会社として歩んで参りたいと存じます。

ハシダ技研工業株式会社
尼崎工場 エレクトロニクス事業部
代表取締役社長 吉岡 亨浩

環境経営方針

<環境理念>

ハシダ技研工業(株) 尼崎工場 エレクトロニクス事業部は、地球環境保全は企業活動を行う上での
社会的責任と考え、従業員一人ひとりが対環境認識を持ち、環境負荷を軽減するために、
自主的・積極的に、環境への取組を推進します。

<行動指針>

1、次の事項について環境目標・環境活動計画を定め定期的に見直しを行い
継続的な改善に努めます。

- 1) 二酸化炭素排出量の削減
- 2) 廃棄物の削減
- 3) 水使用量の削減
- 4) 環境に配慮した製品への取組
- 5) 化学物質使用量の抑制及び管理

2、環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

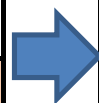
制定日：2009/10/1

改訂日：2022/10/1

代表取締役社長 吉岡 亨浩

<課題とチャンスの整理(SWOT分析)>

	Strengths (強み)	Weaknesses (弱み)
内部	・スピード感、積極性 ・優れた技能者がいる ・若い社員がいる	・優れた技能者が高齢化している上、 社内研修制度や設備が整っていないた め、若手へ技術の伝承が出来ていな い。
	Opportunities (機会)	Threat (脅威)
外部	・ビジネス上、 ISO14000の代わりに アピールする事ができ る	・あくまで客先受注型の為、環境に配慮 していない部品の購入を指示されるこ とがあり適用できないことが多い



環境 経営 方針	・人に喜ばれ、お客様に 安心してもらえる経営を 目指す ・社員とともに積極性のあ る職場づくりを目指しま す。
環境 経営 目標	・CO2削減を目的とした製 品の受注の獲得を目指 す ・新入社員への環境活動 の推進を進める

□組織の概要

(1)名称及び代表者名

ハシダ技研工業株式会社 尼崎工場 エレクトロニクス事業部
代表取締役社長 吉岡 亨浩

(2)所在地

兵庫県尼崎市東初島町2-28

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 乙宗 健一
担当者 松山 尚司

TEL:06-6488-8061
同上

(4)事業内容

電子制御機器の製造

(5)事業の規模

製品出荷額 578 百万円 (2023年度)

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
従業員 (人数)	20	23	23	24	24	26
延べ床面積 (㎡)	817	817	817	817	817	817
総売上高 (百万円)	371	470	486	582	515	578

(6)事業年度 10月1日～翌年9月30日

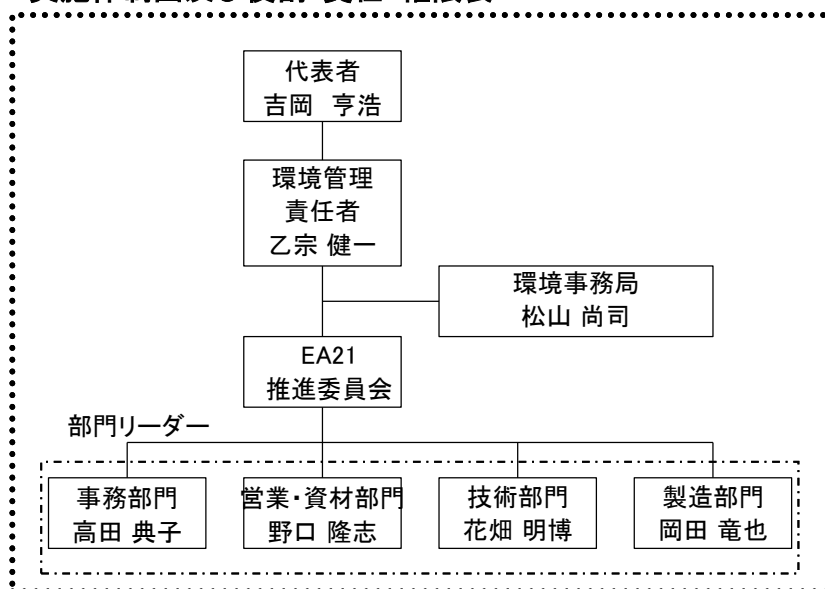
□認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: ハシダ技研工業株式会社
尼崎工場 エレクトロニクス事業部

対象外: 該当なし
活動: 電子制御機器の製造



ハシダ技研工業株式会社 尼崎工場 エレクトロニクス事業部
実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
代表者(社長)	・環境経営に関する統括責任 ・術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、実施、管理、 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告・ ・環境活動レポートの確認 ・環境方針の周知 ・問題点の発見、是正、予防措置の実施
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付) ・従業員に対する教育訓練の実施 ・環境活動計画の実施及び達成状況の取りまとめ ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・特定された緊急事態への対応の為の手順書作成、テスト、訓練の実施 ・記録の作成
部門リーダー	・自部門への環境活動の具体的な指示 ・自部門の活動状況確認及び達成状況の報告 ・問題点の是正
全従業員	・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

□主な環境負荷の実績

項 目	単位	基準年度				
		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	35,944	29,417	33,884	35,590	28,713
廃棄物排出量	kg	9,580	7,388	6,201	7,505	4,340
一般廃棄物排出量	kg	2,259	1,702	1,592	1,913	2,065
産業廃棄物排出量	kg	7,321	5,686	4,609	5,592	2,275
総排水量	m ³	172	226	263	289	271
化学物質使用量(鉛)	kg	4.5	4.2	3.0	3.3	1.1

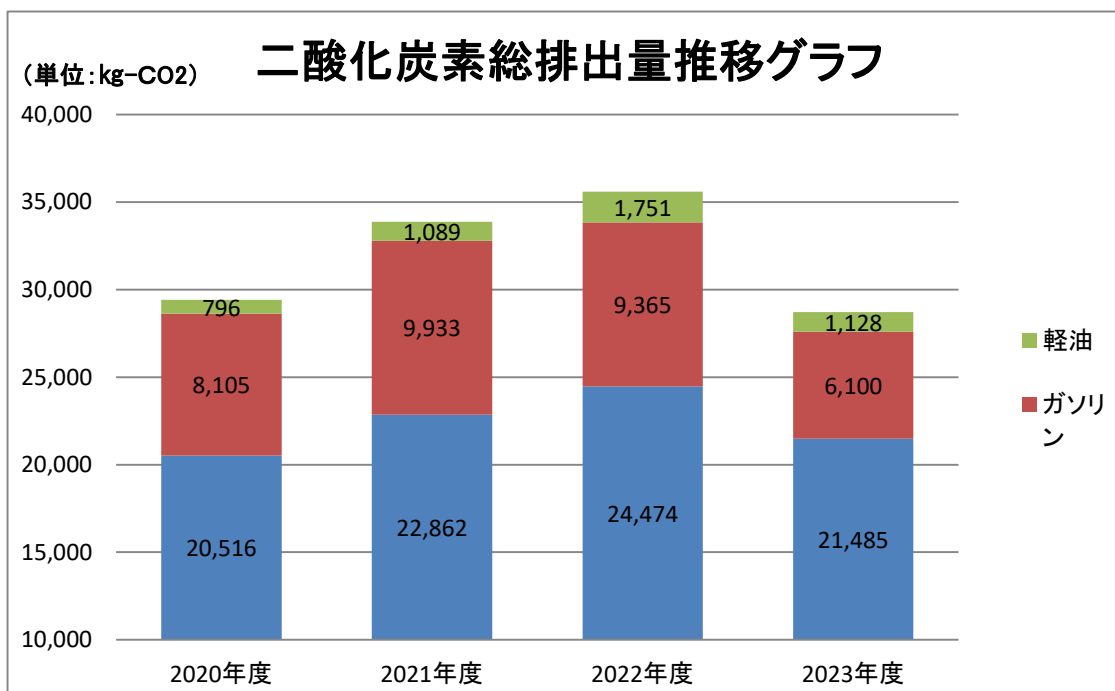
□環境経営目標及びその実績

年 度 項 目		基準年度							
		2020年 実績	2021年 実績	2022年 実績	2023年		2024年	2025年	2026年
					目標(※2)	実績	目標(※3)	目標(※3)	目標(※3)
電力量削減(※1)	kg-CO ₂	20,516	22,862	24,474	23,740	21,485	20,841	20,216	19,609
	目標達成率				97%	110%			
ガソリン量削減	kg-CO ₂	8,105	9,933	9,365	9,084	6,100	5,917	5,739	5,567
	目標達成率				97%	149%			
軽油量削減	kg-CO ₂	796	1,089	1,751	1,698	1,128	1,094	1,061	1,029
	目標達成率				97%	151%			
上記二酸化炭素排出量合計		29,417	33,884	35,590	34,523	28,713	27,852	27,017	26,206
		kg-CO ₂			97%	120%			
一般廃棄物の削減	kg	1,702	1,592	1,913	1,894	2,065	2,023	1,983	1,943
	目標達成率				99%	92%			
産業廃棄物の削減	kg	5,686	4,609	5,592	5,312	2,275	2,275	2,275	2,275
	目標達成率				95%	234%			
水道水の削減	m ³	226	263	289	280	271	262	255	247
	目標達成率				97%	104%			
環境配慮製品への取組 (売上高比)	%	61%	63%	64%	64%	65%	65%	65%	65%
	目標達成率				100%	99%			
化学物質の使用量の抑 制及び管理	kg	4.2	3.0	3.3	3.2	1.1	1.1	1.0	1.0
	目標達成率				97%	294%			

(※1) 2020年度～2022年度は、0.531(=2014年度関西電力基礎排出係数)、
2023年度以降は、0.419(=2023年度関西電力)調整後排出係数を使用した。

(※2) : 2023年度の目標値は2022年度を基準とした。

(※3) : 各年度の目標値は前年度を基準とした。



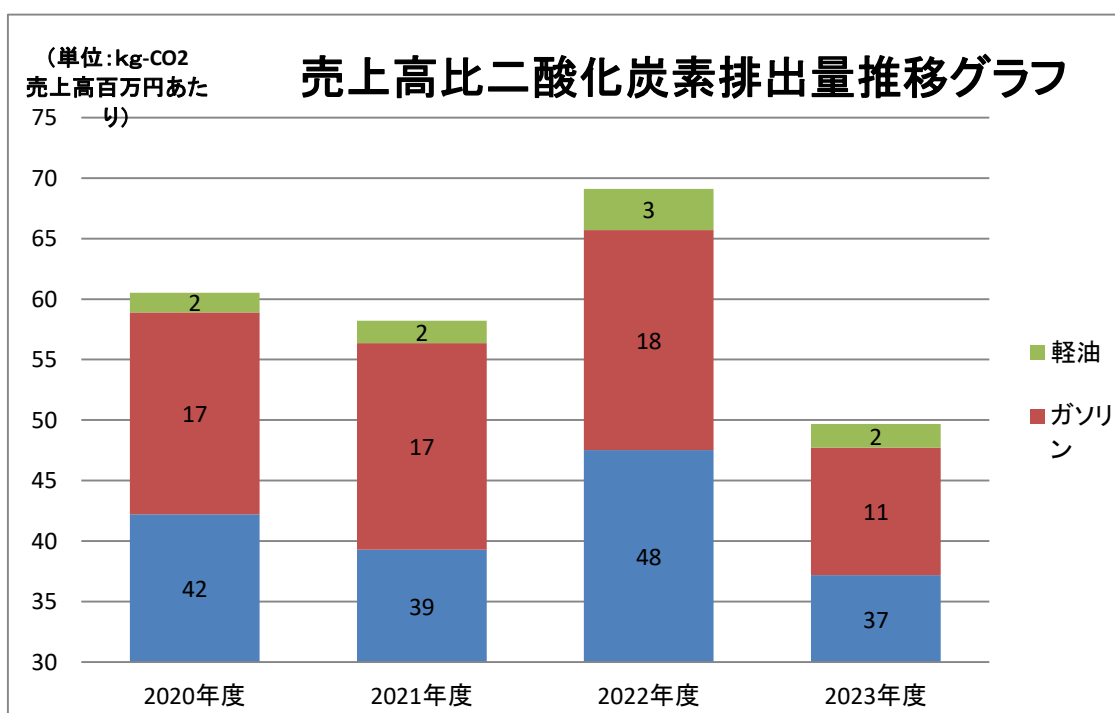
※2015年から電力の二酸化炭素排出係数は、0.531に補正している

※2023年から電力の二酸化炭素排出係数は、0.419に補正している

[評価]

売上増に伴いエネルギー使用量増になっている。

※2023年度から係数が変わっているため、グラフ自体は使用量減で表記



[評価]

エコアクション活動を実施することによって効果があらわれている。

※2023年度から係数が変わっているため、グラフ自体は大幅に使用量減で表記

□環境経営計画の取り組み計画と評価・次年度の取り組み内容

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった

◎よくできた ○できた △あまりできなかった ×全くできなかった		
取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
電力による二酸化炭素排出量の削減		
・数値目標	○	今期から二酸化炭素排出量係数が変更になったことにより、二酸化炭素排出量の数値は下がっているが、実際の使用量は大型量産案件がスタートしたことによる作業場の拡大等の影響で前期よりも多くなっている。また、空調の設定温度を夏場は28℃に設定していたが、作業場は30℃を超えており従業員の作業効率が落ちていた。従業員の健康を守ることも考え、扇風機等と併用し、室温を28℃したらどうか試みる。
・不要照明の消灯	○	
・OA機器(PC)の節電	○	
・PC未使用時には画面OFF	○	
・PCの省エネモード設定	○	
・空調温度の適正化 (冷房=28℃、暖房=19℃)	×	
自動車燃料による二酸化炭素排出		
・数値目標	○	大型量産案件が始まり、本来は増加するところだが、名古屋方面への訪問頻度が減ったこと、打合せや納品物が小さいものや封筒のみでの訪問時は公共交通機関を使用したことで目標達成することが出来た。引き続き公共交通機関の使用、エコドライブは継続するとして、訪問頻度減に関しては無駄の削減であれば問題ないが、メイン顧客ではあるので営業活動が疎かになっていないか精査していく。
・アイドリングストップ	○	
・急加速の抑制(エコドライブ)	○	
・冷暖房の控えめ使用	○	
・タイヤ空気圧の適正管理	○	
・走行距離と使用燃料の比較管理	○	
一般廃棄物の削減		
・数値目標	×	大型量産案件が始まったことで廃棄量が増えたが、裏紙の使用や段ボールの再利用を行ない、増加を少しは抑えられている。引き続き取り組みを継続していく。
・両面コピー、裏紙使用	○	
・コピーミスの防止	○	
・分別による古紙のリサイクル化	○	
・電子データ化	×	
・廃棄量の目標と実績のグラフを掲	○	
産業廃棄物の削減		
・数値目標	○	大型量産案件が増え、レイアウト変更を行なったが廃棄物を来期にした。今期は結果的によかったが、来期はこれがアドオンされた状態からのスタートになるのでその中で取り組みをしっかりとっていく。
・分別BOX設置と分別保管	○	
・作業ミス防止の分析・改善	○	
・マニフェストの管理	○	
・配線材の残材削減	○	
水道水の削減		
・数値目標	○	パッキンの経年劣化による水漏れ等あったが迅速な対応もあり水道量もそこまで多くなすんだ。また、弁当屋を変更した際、エコアクションの活動も加味したことが非常に良かったです。引き続き取り組みを継続していく。
・節水の呼びかけ(手洗い水量の適)	○	
環境に配慮した製品への取組		
・数値目標	○	大型量産案件がROHS対応ということもあり、数字はよくなっている。リポート案件に限らず、単発案件でもROHS対応可能なものは対応するよう心掛ける。
・リポートオーダーのグリーン資材調達状況調	○	
・環境を配慮した部品への変更	○	
・環境に配慮した部品の標準化	○	
化学物質使用量の抑制及び管理		
・数値目標	○	作業性の良い鉛フリー半田を導入し共晶を減らし効果が現れている。引き続き取り組みを継続していく。
・月別使用量管理	○	
・半田屑の管理	○	

□環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無
法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守状況
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物 (金属くず、廃プラ、電気部品、ビニール電線類、廃蛍光)	○
化学物質排出把握管理 促進法(PRTR法)	特定第一種化学化合物 No.305鉛化合物(共晶半 田)	○
労働安全衛生法	鉛中毒予防の管理	○
薬事法	加速度脈波計(アルテット)	○
フロン排出抑制法	空調機の3ヵ月に1回の簡易点検 機器廃棄後も3年間記録保存	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□代表者による全体の評価と見直し・指示

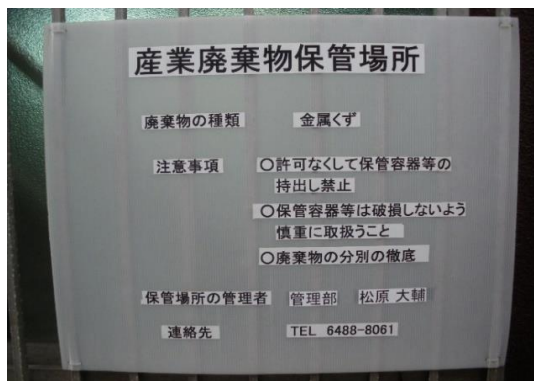
今年度から新規の量産案件の生産が始まり、結果として電力の使用量が以前に比べ、
多くなってしまいました。生産は今後継続する為、消費電力を削減する為の対策が必要と考え、
対策案を検討することになりました。他工場で利用している省エネ診断のことを聞き、先月に診断
を
行ってもらいました。診断をしてもらった際に色々問題点や改善の余地があるところを指摘して
いただき、そのアドバイスを今後の環境活動に活かしていきたいと思います。特に、空調機の
室外機を定期的に掃除することでポンプの負荷が減り、効率が上がることだったので、
フィルタや室外機の掃除の頻度を上げて消費電力、電力の使用量の削減に努めていきます。

環境経営方針見直し : 変更なし
環境経営目標・環境経営計画 : 変更なし
実施体制 : 変更なし

節電の為の啓発表



廃棄物分別の為の啓発



節水の為の啓発表

